



彩速ナビ「TYPE M」は3モデル。7型の「MDV-M705W」(写真/200mmワイドモデル)と「MDV-M705」(ともにオープン価格。想定実売価格は9万円前後/税抜)、8型の「MDV-M805L」(オープン価格。想定実売価格は11万円前後/税抜)。

Attention ！ 今月の注目

KENWOOD

設立70周年を迎えたケンウッドの新モデル

AVナビが ドライバーを見守る！

人気のAV(オーディオ・ビジュアル)カーナビ“彩速”に「TYPE M」が誕生。ドライブレコーダーとの連携機能に注目する！

文=永野正雄(本誌) 写真=阿部昌也
問い合わせ先=JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター ☎0120-2727-87

2011年に発売されるや、瞬間にAVカーナビの人気モデルとなったケンウッドの“彩速ナビ”。その成功のヒミツは、他社ブランドの追随を許さない、快適な操作性にある。フリックやピンチ、ドラッグといった指先の操作に瞬時に反応するタッチパネルは、まさにスマートフォンを扱うかのごとき使いやすさ。高性能デュアルコアCPUの採用により、動きは常にスムーズで、操作時のストレスは一切、感じさせない。もちろん、ピクスタスタジオを傘下に収める同社の“音”へのこだわりも相当なもので、CDを超えるハイレゾ音源をAVナビで再生できるようにしたのも、彩速ナビが世界初だった。

今年はケンウッドの設立70周年。その記念モデルとして、彩速ナビにTYPE Mが加わった。最上位機種、TYPE ZのDNAを受け継いだモデルで、操作性や音質へのこだわりはそのまま。一方で目的地までの距離や時間、天気など、必要な情報を簡単に表示できるINFOウィンドウはさらに使いやすく進化した。

ハイレゾ対応スピーカーなど、彩速ナビと連携した周辺機器の充実ぶりにも目を見張るが、中でも今、注目されているのが、危険運転の報道をきっかけに購入者が増加しているドライブレコーダーだ。10月に発売された「DRV-N530」と「DRV-R530」は、ハイレゾを超える高画質で、クルマの前方と後方の映像を彩速ナビに同時録画ができる。また後から記録映像を再生しながら、走行位置を彩速ナビのマップ上に表示させることも可能だ。もはや優れたAVナビの役割は、目的地にたどり着くまでのアシストや、車内を美しい音で満たすことだけにとどまらない。万が一の緊急事態から、ドライバーと家族、友人を守る役割をも果たすのだ。



DRIVE RECORDER

彩速ナビ連携型ドライブレコーダーの「DRV-N530」(フロント用)に加え「DRV-R530」(リア用)もリリース。後方の映像も求められている時代にいち早く対応している。前後ドライブレコーダーの操作も彩速ナビのタッチパネルでできるので便利だ。リア用の映像は彩速ナビに表示して、ルームミラーの補助的な機能として使用することもできる。(ともにオープン価格。想定実売価格はフロント用2万2000円前後、リア用2万7000円前後/税抜)



MUSIC



ハイレゾ音源に対応した彩速ナビの豊かな音質を体験するためには、スピーカーにもこだわりたい。写真の製品は「KFC-XS170」(希望小売価格3万7000円/税抜。2本1組、ツイーター1組付属)。

CAR NAVIGATION



彩速ナビでは、ケンウッドが培ってきた独自のアルゴリズムにより、業界トップクラスの自車位置精度を実現。立体交差道路や立体駐車場、ビルの密集エリアでも、迷うことなく安定した走行を可能にする。